

「私の思惑、イエス様の願い」

主任牧師：重田 稔仁

<マタイによる福音書 14:22-33 新共同訳>

「それからすぐ、イエスは弟子たちを強いて舟に乗せ、向こう岸へ先に行かせ、その間に群衆を解散させられた。群衆を解散させてから、祈るためにひとり山にお登りになった。夕方になっても、ただひとりそこにおられた。ところが、舟は既に陸から何スタディオンか離れており、逆風のために波に悩まされていた。夜が明けるころ、イエスは湖の上を歩いて弟子たちのところに行かれた。弟子たちは、イエスが湖上を歩いておられるのを見て、「幽霊だ」と言っておびえ、恐怖のあまり叫び声をあげた。イエスはすぐ彼らに話しかけられた。「安心しなさい。わたした。恐れることはない。」すると、ペトロが答えた。「主よ、あなたでしたら、わたしに命令して、水の上を歩いてそちらに行かせてください。」イエスが「来なさい」と言われたので、ペトロは舟から降りて水の上を歩き、イエスの方へ進んだ。しかし、強い風に気がついて怖くなり、沈みかけたので、「主よ、助けてください」と叫んだ。イエスはすぐに手を伸ばして捕まえ、「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」と言われた。そして、二人が舟に乗り込むと、風は静まった。舟の中にいた人たちは、「本当に、あなたは神の子です」と言ってイエスを拝んだ。」

<メッセージ>

イエス様は、自分を追いかけて集まった多くの人々の病を癒し、神の国の祝福について教え、5000人に給食したあとクタクタになられたんでしょうね。強いて弟子達を船に乗せガリラヤ湖の向こう岸に送り出したあと、ご自分は祈るためにご山に退かれました。

ここで事件が起きたのです。

湖に船を漕ぎだした弟子達でしたが、夜通し漕げども、漕げども向かい風に悩まされ前に進めなかったのです。そんな弟子達のところへ明け方、イエス様が湖を歩いて近づいて来られたのです。その姿を見たとき、弟子達はイエス様を幽霊だと勘違いして怯えてしまったんですね。

弟子達の気持ち、分かる気がします。

人間、誰も命の危険にさらされ、不安な状況に置かれたらあり得ないことを思いついたりするものです。

でもそんな弟子達でしたが、歩みよってこられたのが幽霊ではなく、イエス様だとわかったとたん、あのペテロは深く考えもせず、自分も湖を歩きたいとイエス様に申し出て、船を降りたんです。

大胆というか、浅はかというか、好奇心旺盛というか、自己顕示の塊というか。

結果は、ご存知の通り。

水の上を歩き出したはいいが、ペテロは直ぐに強い風で荒れ狂う波に怯えて溺れそうになったのです。

そんなペテロに手を伸ばしたイエス様がおっしゃったのが、

「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」の一言です。

このイエス様のことば、私たちも人生の旅路で何度か聞いたことがないでしょうか。

進学、就職、結婚などなど夢と希望を胸に抱いて意気揚々と人生の新しいステージに足を踏み入れたのはいいが、苦難、困難、災難で我を失ったとき

「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」と心に語りかけるイエス様の声を聞いたことはありませんか。

私は、何度もあります。

そんな経験がある私たちに、あるいは、今、そんな状況にあるかも知れない私たちに、ペテロの物語は何を示唆しているのでしょうか。

人間はどこまで行っても弱く愚かだと論しているのでしょうか。

しっかりしろ！と叱咤激励しているのでしょうか。

私は、23 節にある、

そして二人が舟に乗り込むと風は静まった。舟の中にいた人たちは、

「本当に、あなたは神の子です」と言ってイエスを拝んだ。」

という一節にペテロの物語のメッセージが凝縮されていると思います。

それは、イエスこそ私たちが礼拝し、信頼すべき神だ！ということです！

人はその心を支配するものに虜にされます。もし私たちが、この世の富、名誉、快樂、苦しみ、病、争いにその心が支配されるなら、私たちはそれらの虜とされます。

そのいく先はカオスと恐れです。

正に今、世界中の人々が新型コロナウイルスの虜にされているようにです。

みなさん。私たちが、イエス様を礼拝し、私たちの心がイエス様に支配されるなら、私たちはイエス様の虜とされ、不安に打ち勝つ事ができます。

ペテロの物語は、そう私たちに教えているのです。
今私たちが、祈り求めるべきこと、
それは、イエス様を心から礼拝し、
私たちの心をイエス様に支配していただくことをです。
そうすれば何が最善で自分は、何を今、為すべきか分かるはずです。

イエス様に心を支配していただくため
聖霊の助けによって、イエス様を主なる神と告白し、イエス様を礼拝する幸いにこの
一週間、生かして頂きましょう。

「ここであなたがたに言っておきたい。神の霊によって語る人は、だれも「イエスは神
から見捨てられよ」とは言わないし、また、聖霊によらなければ、だれも「イエスは主
である」とは言えないのです。」

コリントの信徒への手紙一 12:3